2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　スターゼン株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　8043　　URL　https://www.starzen.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）　横田　和彦
問合せ先責任者　（役職名）執行役員　財務経理本部長　（氏名）　森上　倫輔　　(TEL) 03-3471-5521
半期報告書提出予定日　　2026年11月12日　　配当支払開始予定日　　2026年11月27日
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	236,576	7.5	4,249	47.3	5,716	43.3	4,053	45.2
2026年３月期中間期	220,081	3.1	2,884	△10.8	3,988	8.8	2,791	11.6

（注）包括利益 2027年３月期中間期　3,884百万円（　6.4%）　2026年３月期中間期　3,650百万円（　65.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	71.46	―
2026年３月期中間期	48.82	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	226,558	95,833	42.3
2026年３月期	202,134	95,733	47.4

（参考）自己資本 2027年３月期中間期　95,828百万円　2026年３月期　95,729百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	―	―	43.00	43.00
2027年３月期	―	26.00			
2027年３月期(予想)			―	26.00	52.00

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	4.9	9,200	5.0	11,400	3.4	8,500	1.9	150.58

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　　：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：有

新規　３社（社名）株式会社オサベフーズ、マルトヨ食品株式会社、株式会社超冷　　除外　―　社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	58,567,656株	2026年３月期	58,567,656株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,389,832株	2026年３月期	1,421,928株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	56,720,921株	2026年３月期中間期	57,178,673株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料４ページ「１.当中間決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足資料の入手方法）

決算補足資料は、2026年11月10日TDnetに提出するとともに当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

食肉業界を取り巻く環境は、牛肉の国際相場が高止まりする中、比較的値頃感のある豚肉・鶏肉への需要シフトが見られました。一方で、飼料価格をはじめエネルギー関連費用や包装資材などの各種コストが高水準で推移し、総じて厳しい事業環境が継続いたしました。

こうした事業環境のもと、当社グループでは、「世界中のお客様のニーズに応えるサプライチェーンの実現」をテーマとした新中期経営計画(中期経営計画2030)をスタートし、その目標達成に向けた各種施策に取り組んでまいりました。

中期経営計画2030では、「強みのさらなる進化とグローバル市場への挑戦」を掲げております。長年培ってきた国内事業における堅固な販売力を一段と強化するとともに、その強みを海外市場へも展開することでグローバルサプライチェーンの構築を図り、当社グループの経営理念である「食の感動体験を創造することで世界中の人々と食をつなぎ続ける」の実現につなげてまいります。

海外では、日本食人気の高まりや食文化の多様化を背景に、和牛需要が拡大しております。拡大する世界的なニーズに対応するため、当社は国内の営業部門と輸出部門の組織改革を実施し、国内で培った営業ノウハウを海外市場にも展開できる体制を構築いたしました。今後は輸出事業に加え、各海外拠点による現地での営業活動を推進することで、海外市場における販売シェアの拡大を図ってまいります。

国内では、市場環境や消費者ニーズの変化に対応するため、製造・営業・物流拠点の最適化を進めるとともに、加工食品群の品ぞろえ拡充および生産能力強化による商品力向上、ならびにサプライチェーン全体を通じたお客様視点の商品提案の強化に取り組んでおります。

４月より、冷凍ハンバーグを中心とした加工食品の製造・販売を手掛ける株式会社オサベフーズがスターゼングループの一員となりました。同社の高い生産能力と当社グループの広域な販売ネットワークを組み合わせることで、加工食品群の更なる販売強化に取り組んでおります。

国内物流拠点の再編の一環として、８月より基幹物流拠点となる「東扇島センター」の本格稼働を開始いたしました。本センターを物流ネットワークの中核拠点として、保管・配送機能の最適化を実現するとともに、食品の安定供給およびお客様へのサービス品質向上を推進しております。

サステナブルな事業運営につきましては、温室効果ガス排出量削減施策の策定に向け、省エネルギー施策の推進や再生可能エネルギーの活用について、削減効果とコストの両面から検討を進めております。また、持続可能な調達体制の構築に向け、サプライチェーンにおける人権リスクへの対応や森林破壊防止に向けた取組方針の策定を進めております。これらの取り組みを通じて、環境負荷の低減と事業基盤の強化に努めてまいります。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は236,576百万円（前年同期比7.5%増）、営業利益は4,249百万円（前年同期比47.3%増）、経常利益は5,716百万円（前年同期比43.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は4,053百万円（前年同期比45.2%増）となりました。

事業部門別の営業概況は、次のとおりです。

（単位：百万円）

各事業部門の売上高	当中間 連結会計期間	前年同期	増減額	増減率 (%)
食肉関連事業	235,024	218,457	＋16,566	＋7.6
食肉	181,897	173,730	＋8,167	＋4.7
加工食品	47,711	39,546	＋8,164	＋20.6
ハム・ソーセージ	4,346	4,258	＋87	＋2.1
その他	1,069	922	＋147	＋16.0
その他の事業	1,551	1,624	▲72	▲4.4

また、部門別の業績は次のとおりです。

（食肉）

国内事業においては、物価上昇の長期化による消費者の節約志向の高まりに加え、国産・輸入商品ともに仕入価格の上昇が続くなど、厳しい事業環境となりました。一方で、低価格帯商品への需要シフトに対する対応や輸入牛肉や国産豚肉における採算性の改善が奏功し、売上高および売上総利益ともに前年同期を上回りました。

食肉のカテゴリー別の業績は次のとおりです。

国産食肉においては、消費者の節約志向や低価格志向が続く中、食肉相場の高値推移や採算性の改善により、売上高及び売上総利益共に前年同期を上回りました。

輸入食肉においては、現地相場高や円安などの影響により輸入食肉価格が高止まりしましたが、収益構造を見直すことにより、利益確保につながりました。その結果、売上高および売上総利益はともに前年同期を上回りました。

輸出事業においては、前期に完全子会社化したADiRECT SINGAPORE PTE. LTD.と国内営業部門との連携のもと、東南アジア市場における販売拡大に向けた事業基盤の整備を進めるとともに、欧州向け販売の営業窓口をスターゼンヨーロッパに移管することで、現地顧客のニーズに迅速に対応可能な体制を整備いたしました。

（加工食品）

加工食品においては、４月より子会社化したオサベフーズによる商品力拡充に加え、ハンバーグ等の販売が堅調に推移したことから、売上高および売上総利益は前年同期を上回りました。

（ハム・ソーセージ）

ハム・ソーセージにおいては、価格改定や商品の統廃合、生産ラインの見直しによる生産性向上、新商品の開発を進めた結果、売上高は前年同期を上回りました。原料価格の上昇等の影響は受けたものの、これらの施策により、売上総利益は前年同期並みの水準を確保いたしました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末と比べて、11,735百万円増加し、137,175百万円となりました。これは、主として前渡金、売掛金が減少したものの、商品及び製品が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて、12,643百万円増加し、89,336百万円となりました。これは、主として建物及び構築物、機械装置及び運搬具、のれんが増加したことによるものであります。

この結果、総資産では、前連結会計年度末に比べて、24,423百万円増加し、226,558百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末と比べて、5,342百万円増加し、73,562百万円となりました。これは、主として１年内償還予定の社債が減少したものの、短期借入金、買掛金、１年内返済予定の長期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比べて、18,981百万円増加し、57,162百万円となりました。これは、主として社債、長期借入金が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計では、前連結会計年度末に比べて、24,323百万円増加し、130,724百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末と比べて、99百万円増加し、95,833百万円となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月14日付け公表の「2026年３月期　決算短信」に記載の業績予想から変更はありません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,242	18,639
受取手形及び売掛金	36,280	33,440
商品及び製品	44,136	62,308
仕掛品	874	1,110
原材料及び貯蔵品	2,750	3,540
前渡金	16,941	11,371
その他	6,589	7,113
貸倒引当金	△374	△347
流動資産合計	125,440	137,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,946	19,980
土地	13,418	14,148
その他（純額）	14,872	16,534
有形固定資産合計	42,238	50,664
無形固定資産		
のれん	2,318	4,821
その他	4,434	4,167
無形固定資産合計	6,753	8,989
投資その他の資産		
投資有価証券	24,709	24,312
その他	2,991	5,370
投資その他の資産合計	27,701	29,682
固定資産合計	76,693	89,336
繰延資産	0	45
資産合計	202,134	226,558

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,369	21,115
短期借入金	13,049	19,990
1年内償還予定の社債	5,000	100
1年内返済予定の長期借入金	12,356	13,871
未払法人税等	1,804	2,070
賞与引当金	1,981	1,957
その他	14,660	14,456
流動負債合計	68,220	73,562
固定負債		
社債	－	10,000
長期借入金	29,135	37,878
退職給付に係る負債	1,755	1,824
債務保証損失引当金	1,157	1,187
その他	6,132	6,270
固定負債合計	38,180	57,162
負債合計	106,400	130,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,658	11,658
資本剰余金	12,543	12,550
利益剰余金	67,208	68,804
自己株式	△1,605	△2,940
株主資本合計	89,804	90,072
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,274	3,800
繰延ヘッジ損益	324	△82
為替換算調整勘定	1,069	1,796
退職給付に係る調整累計額	256	241
その他の包括利益累計額合計	5,925	5,755
非支配株主持分	4	4
純資産合計	95,733	95,833
負債純資産合計	202,134	226,558

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	220,081	236,576
売上原価	199,828	213,418
売上総利益	20,253	23,158
販売費及び一般管理費	17,369	18,908
営業利益	2,884	4,249
営業外収益		
受取利息	25	68
受取配当金	116	143
持分法による投資利益	961	1,180
不動産賃貸料	47	61
受取保険金及び配当金	301	289
補助金収入	83	469
その他	193	270
営業外収益合計	1,729	2,482
営業外費用		
支払利息	449	855
不動産賃貸費用	16	19
その他	159	141
営業外費用合計	625	1,016
経常利益	3,988	5,716
特別利益		
固定資産売却益	0	3
投資有価証券売却益	－	722
特別利益合計	0	726
特別損失		
固定資産除却損	7	6
解決金	－	591
その他	－	53
特別損失合計	7	651
税金等調整前中間純利益	3,982	5,790
法人税、住民税及び事業税	1,075	1,874
法人税等調整額	114	△137
法人税等合計	1,190	1,736
中間純利益	2,792	4,053
非支配株主に帰属する中間純利益	0	0
親会社株主に帰属する中間純利益	2,791	4,053

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	2,792	4,053
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	778	△476
繰延ヘッジ損益	148	△405
為替換算調整勘定	45	468
退職給付に係る調整額	△15	△28
持分法適用会社に対する持分相当額	△97	272
その他の包括利益合計	858	△169
中間包括利益	3,650	3,884
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	3,650	3,883
非支配株主に係る中間包括利益	0	0

（３）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)及び当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

当社グループは、生産肥育から食肉の処理加工、製造、販売に至るまでの事業を主に国内で行う「食肉関連事業」を中心に事業活動を展開しており、報告セグメントは「食肉関連事業」のみであり、その他の事業セグメントは開示の重要性が乏しいため、セグメントごとの記載を省略しております。